

提案名	金山杉住宅 長期優良住宅先導モデル	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	金山杉住宅をつくる会	種別	システム提案
構造	木造住宅（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

金山杉を活用した(1) 快適で長持ちする長期優良住宅「金山杉住宅」を(2)、金山町森林組合のコーディネートにより、施工者・設計者のネットワークで実現します(3)。

設計者や施工者は、住宅の建設に当たって樹種や木材の品質を指定しても、木材の産地まで指定することは稀である。そのため、国内の良質な木材産地であっても販路を十分拡大できない状況にある。一方住まい手は、住宅に関して「十分な性能の確保」と「維持管理の内容と体制」に高い関心を持っているが、木造住宅のつくり手側は、そのニーズに十分応えきれていないのが現状である。

この問題を解消するため金山町森林組合は、「金山杉認証制度や自主基準による品質管理・表示体制」、「金山杉住宅仕様書」を整備し、金山杉住宅のつくり手グループ「金山杉住宅をつくる会」を組織した。設計者や施工者の廃業や倒産時には、会員相互に助け合い長期の維持管理体制を築くことで、消費者に安心できる木造住宅を提供することも視野に入れている。

■提案内容

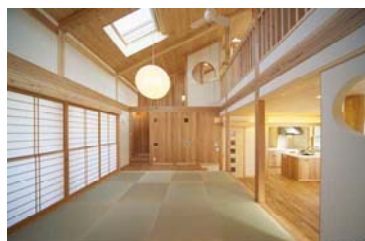
(1)高品質で美しい金山杉を最大限活用した住まいづくり

①金山杉は、長伐期施業の大径木として有名である。山形県内陸部の厳しい気候で育った金山杉は、年輪幅が緻密であるため強度が高く、大径木であるため梁や桁などの横架材にも利用可能である。金山町森林組合は、この金山杉を製材し、徹底した乾燥を行う一方、製品一本一本についてヤング係数や含水率を計測するなど自主基準による品質管理に取り組んでいる。また金山杉であることの履歴を証明する「金山杉認証」にも取り組んでいる。金山杉住宅では、住宅一軒分すべてをこの高品質な金山杉で賄う(土台を除く)。



▲樹齢 200 年の金山杉

②金山杉の 80 年生木は年輪幅が緻密で強度が高く、柱だけでなく梁や桁など横架材にも適している。また心材部は赤身が多くかつ人肌色でたいへん美しい材であるため、真壁かつ構造材をあらわして使うことを原則とし、建築的な工夫を加えることにより、魅力的な空間を作る。



金山杉でまとめられた室内。色合いが整い落ち着いた空間になる。



軒の出が深く、外壁に杉板を用いた住宅。



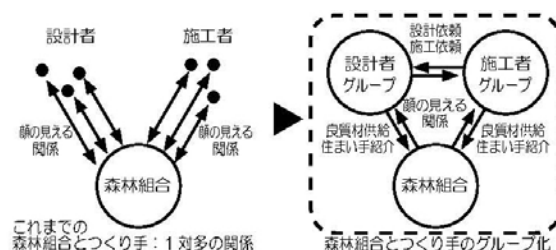
第一回金山杉サミット開催の様子

## (2)「金山杉住宅仕様書」に基づいた快適で長持ちする住まいづくり

- ・「金山杉住宅仕様書」は、長期優良住宅認定基準を満たすとともに、金山杉のよさ・在来木造住宅のよさを最大限に引き出すため、4つのコンセプトを打ち出している。
  - A. 自然素材をあらわして使う木の家（自然循環仕様）  
自然素材は自然の循環のなかで作り出され、廃棄される過程でも自然界に戻され再生産される。住宅の構成要素のできるだけ多くを木材などの自然素材でつくり、自然循環に配慮した仕様とする。
  - B. 近隣の持続性を考えた木の家（近隣共生仕様）  
住宅を建てる際には、近所の建物のことを考えなければならない。日照や通風などは互いの建て方に影響するため、近隣の建物に応じた建て方や、近隣の建物への影響を最小限にした建て方を行う。
  - C. 丈夫で長持ちする木の家（高耐久仕様）  
耐久性低下の原因となる水分・湿気を長期間継続的に作用させない劣化対策や、点検・補修できる維持管理対策とともに、大地震においても倒壊しない耐震性を有した、耐久性の高い仕様とする。
  - D. 自然エネルギーを利用する木の家（自立循環仕様）  
気候や敷地特性などの住宅の立地条件や住まい方に応じて、日射や通風など自然エネルギーを活用して、居住性を向上させつつも省エネルギー化をはかる仕様とする。
- ・長期優良住宅では、4つのコンセプトを展開してつくられた40の仕様を取捨選択して用いる。

## (3)金山町森林組合・設計者・施工者のネットワークによる住まいづくり

- ・本年度、金山町森林組合は「金山杉住宅の普及促進事業」を展開している。その事業のひとつが、金山杉住宅の〈つくり手グループ〉の組織化である。その第一歩として、去る9月18日・19日「金山杉サミット」を開催した。
- ・「金山杉住宅をつくる会」は、つくり手個々には行いにくい課題に対し、グループとして取り組むことにより可能となる事業の実施に着目している。その第一が維持管理体制の確立であり、①定期点検、②計画修繕、③木の家のお手入れ、④履歴保存などの手引書類をまとめている。
- ・金山町森林組合は、これら取り組みにおけるコーディネーターを努めている。



### ■提案者からのコメント

#### ●構造見学会・完成見学会の実施

- ・採択を受けた住宅は、構造見学会・完成見学会を各1回以上実施し、「金山杉住宅」を広く一般に周知する。

#### ●工務店の長期優良住宅づくりの推進

- ・「金山杉住宅仕様書」を用いた、工務店向けの普及啓発セミナーを実施し、住宅生産者の側から長期優良住宅の普及を推進する。

#### ●「金山杉住宅」の実践

- ・昨年度、木造住宅市場活性化事業の採択を受けて作成した、金山杉を使用した高性能で快適な住まいづくりの仕様書「金山杉住宅仕様書」を今年度は実践する年として位置付けている。長期優良住宅先導事業により「金山杉住宅」を実際に建設することで、普及促進をすすめる。

#### ●木材生産・設計・施工・維持保全の連携体制の強化

- ・金山杉を生産し、設計、施工、維持保全に至るまで、顔の見える体制を構築し、実働に移す。